

南三陸高校通信

第78号中高連携だより

南三陸高校 オープンキャンパス開催 ～南三陸高校・魅力発見！～

8月5日（土） 夏たけなわとなったこの日、「南三陸高校・オープンキャンパス」が開催されました。既刊の連携便りでもお伝えしてきたとおり、本校では全国募集や中高連携事業、コミュニティスクール等々、他の高校にはない独自の取り組みを展開しています。これらの取り組みについては県の内外を問わず様々なメディアをとおして広く報じられており、中学生の皆さんにとっては興味津々の高校であることは論をまちません。

今年では例年になく、多くの中学生の皆さんが参加しました。全体会では学校生活や進路状況に加え、公営学習塾（志翔学舎）等、本校の特色を中心とした説明がなされました。そして模擬授業を体験したのち、部活動を自由に見学して回りました。

また、同日午後と翌8月6日（日）には、県外の中学生の皆さんを対象としたオープンキャンパスが開催されました。全国各地から来校した中学生及びその保護者の皆様には、町の紹介に始まり、情報ビジネス科の模擬授業体験そして寮生との懇談が用意されました。きっと学校や町の暮らしをイメージしていただけだと思います。

今回オープンキャンパスに参加された中学生の皆さんには、南三陸高校の魅力を十分に知っていただけたのではないのでしょうか。今後の進路決定の参考にさせていただきたいと思います。



【高校英語にチャレンジ／模擬授業】



【情報ビジネス科の紹介／模擬授業】

「アンニョンハセヨ／안녕하세요?」

～訪韓を経て深まった相互理解と友好～

8月7日（月）から11日（金）にかけて、東北在住の高校生16名が大韓民国（韓国）を訪問しました。

これは、駐日本国大韓民国大使館（Embassy of the Republic of Korea in Japan）が主催する『東北地方青少年韓国招聘事業』であり、日韓の未来を担う若い世代が、草の根レベルでの交流拡大をとおして信頼基盤を構築することが主眼となっています。南三陸高校からは、西城さん（1年）、佐藤さん（1年）、佐藤さん（2年）、佐藤さん（2年）の4名が参加し、そして主幹教諭の小山信先生が引率として同行しました。

今回の訪韓では「大韓民国・外交部（日本の外務省に相当する）」を表敬訪問したり、「軍事境界線非武装中立地帯周」や「南山韓屋村（韓国の伝統家屋）」、「青瓦台（大統領官邸）」などの見学を通して歴史や文化に触れ、ソウル市内にある観光関連の実業高校「大一観光高校」と交流会を催し友好を深めました。また、キムチやビビンバなどの韓国伝統料理に舌鼓を打ち、大いに健啖ぶりも発揮しました。

4泊5日の短い行程でしたが、今回の交流をとおして日韓双方の関心と理解が深まり、実りある訪韓事業となりました。



【民族衣装「チマチョゴリ」

を着用して観光】



【青瓦台にて／歴代大統領の肖像画が並ぶ】

今年度は、南三陸高校から15名の生徒がサポーターとして参加しました。支援をするサポーター、そして支援を受ける児童双方とも最初は緊張の面持ちをしていましたが、次第に打ち解けてどちらも従容として勉強を楽しむ様子が見られました。

7月27日（木）、28日（金）の両日、志津川小学校「サマーサポータータイム」が行われました。これは「児童たちに勉強を教えたい」、「将来は小学校の教員を目指したい」といった南三陸町内の中高生たちが、サポーターとして志津川小学校の1年生から6年生までの児童に国語と算数の学習支援を行う行事ですが、例年、夏休みを利用して開催されています。

志津川小学校「サマーサポータータイム」

～南三陸高生、学習サポーターとして参加～

南三陸高校・旭ヶ浦祭

「2023年テーマ 輝け～花ざかりの私たち～ / 暑さを熱さで吹き飛ばせ！」

9月2日(土)・3日(日)の両日、南三陸高校と校名を変更してから初めてとなる「旭ヶ浦祭(文化祭)」が賑々しく開催されました。

テーマである「輝け～花ざかりの私たち～」ですが、これはコロナの大禍が収束の兆しを見せる今こそ、「自分たちを最大限に表現できる、自分たちを最大限に輝かすことができる!」といった生徒たちの熱い思いが大きなエネルギーとして湧き起こった言葉です。そしてテーマどおり、小さな花卉が集まったひとつの大輪のごとく、生徒・職員が一丸となって準備が進められました。

今年の旭ヶ浦祭りは名状しがたい残暑の中で開催されましたが、一般公開日には予想を上回る多くのお客様が来校され、会場となった南三陸高校は殷賑を極めました。どの来校者の皆様も展示やアトラクション、ステージ発表を心から楽しんでいる様子でした。そして咲き誇る生徒たちに、“暑さ”を吹き飛ばす“熱さ”を感じられたのではないのでしょうか。

今年の「尾形杯・旭ヶ浦祭部門」では2学年が1位となりました。「尾形杯」*の行方は10月の「体育祭(10月12日(木)～13日(金))」にかかっています。「尾形杯」はいずこの学年の手に!?

「尾形杯」*とは?・・・南三陸高校の3大学校行事 - 「合唱コンクール」、「旭ヶ浦祭」、「体育祭」 - を点数化し、最終的に最も多くの得点を獲得した学年に与えられる最も栄誉ある賞を指しています。(昨年までは、クラス対抗でしたが、今年度から学年対抗となりました)



南三陸高校2年生・就労体験(ジュニアインターンシップ)

～実際の就労体験を通して～

9月12日(火)から14日(木)の3日間に渡り、南三陸町内で営業する20の事業所において、南三陸高校2年生47名を対象とした就労体験活動(ジュニアインターンシップ)が行われました。

ジュニアインターンシップは、実際の就労体験を通して正しい職業観を身につけさせるとともに、勤労に対する目的意識を持たせて自己の進路選択に役立たせることを目的としており、総合的な探究の時間の一環として行われています。



【慎重に食品を扱う/ケースフーズさんにて】

初めは、経験のない職場に戸惑う様子が見られた生徒たちでしたが、事業所の皆様のご指導とご支援のおかげで、有意義な3日間を過ごすことができた様子です。今後の進路選択の参考となりました。本当にありがとうございました。



【客室を整える/ホテル観洋さんにて】

全国商業高等学校英語スピーチコンテスト出場

～東京・渋谷/国際連合大学にて～

9月17日(日) 東京都の国際連合大学において、第40回全国商業高等学校英語スピーチコンテストが開催されました。同コンテストには、宮城県大会の暗唱部門の優勝者である熊谷さん(3年)が参加しました。そして、全国47都道府県の全優勝者が参加する中、練習の成果を堂々と披露しました。

残念ながら本戦まで進出はできませんでしたが、全国の精鋭たちの中で発表できたことは、熊谷さんにとってとても貴重な経験となったことと思います。お疲れさまでした。



【熊谷さん/国際連合大学にて】